

嬉野市地域防災計画（案）に関する質問状
（要望事項）

質問者 嬉野市消防団女性部長 岡 典子 様

連番	要望事項	回答
1	<p>第2編第2章第2節7項(P100)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者の一人暮らし世帯」の避難計画について ・小学校就学前の子供たちや要支援者に対する避難計画の作成については謳われているが、「一人暮らしの高齢者」の避難計画についての記載がない。避難要領について、どのように計画されているのか確認したい。（民生委員さん方との情報共有、具体的な人員配置等） 	<p>「一人暮らしの高齢者」という表現は、記載していませんが、P101 第2編第2章第2節8項の「避難行動要支援者対策の強化」の項があてはまります。</p> <p>「避難行動要支援者」の定義はP101に6項目記載しています。「一人暮らしの高齢者」というだけでは、該当しませんが、「何らかの理由により、一人では避難できない。」と判断した場合、定義6項目の「市及び避難支援等関係者が支援の必要を認めた者」に該当します。</p> <p>「避難行動要支援者」と認定された「一人暮らしの高齢者」は、本人の同意に基づき、「避難行動要支援者名簿」に登録され、「個別避難計画」を作成します。本計画に、誰がどのように避難を支援するのかを詳しく記述することとなります。</p>

連番	要望事項	回答
1		<p>しかし、「個別避難計画」の多くの場合、「誰がどのように支援する。」という最重要部分が空白（未記入）であり、具体化が遅れていることが課題です。引き続き、地域や関係者の協力を得ながら、地区防災訓練等で要支援者の避難行動について検討を行う中で、「個別避難計画」の具体化を図ります。</p>
2	<p>第2編第2章第3節6項(P125) ・「炊き出しの訓練」について ・ボランティアの訓練等が開催されているのであれば、消防団女性部にも声をかけてほしい。「炊き出しの訓練」等を行って欲しい。</p>	<p>嬉野市社会福祉協議会に確認したところ、ボランティアの「炊き出し技術向上を狙った訓練」は行われていないようです。しかし、嬉野市内の各コミュニティが主催する防災訓練においては、「炊き出し訓練」が行われる場合があります。今後は、当該訓練に消防団女性部も参加できるように、調整していきます。</p> <p>理由:消防団女性部への炊き出し技術の向上のため。</p>

連番	要望事項	回答
3	<p>「応急手当普及訓練」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団女性部には、応急手当普及員が15名程いますので各地区の防災訓練等の開催時には連絡をして欲しい。 	<p>嬉野市内の各コミュニティが主催する防災訓練において、「応急手当」等の訓練が予定されている場合は、訓練支援として参加できるように調整していきます。</p> <p>理由：消防団女性部の「応急手当」能力の維持・向上のため。</p>

嬉野市地域防災計画（案）に関する質問状
（要望事項）

質問者 嬉野町区長代表 北川 泰則 様

連番	要望事項	回答
1	<p>「適正な表現の修正」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2編第3章第19節第1項（P184） <p>生徒の安全確保措置について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「臨時休業」の措置と修正しているが、修正前は「臨時休校」となっていて、備考欄に適切な表現に修正と記してあるが、その説明をお願いしたい。 	<p>一般的には「臨時休校」という言葉を使用しますが、正式には「臨時休業」が正しい用語です。</p> <p>理由：本計画は、公文書でありますので、正しい用語に修正しています。</p>
2	<p>「文章の表現の仕方」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2編第1章第4節第1・2項（P33～34） <p>高潮浸水想定のお考え方及び留意事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> この文章の表現の仕方は、ます調で表しているが、佐賀県の高潮浸水想定区域（有明海沿岸、松浦沿岸）の説明資料から引用しているからではあると思われるが、説明をお願いしたい。 	<p>ご指摘のように、「第4節高潮浸水想定」は佐賀県の高潮浸水想定区域（有明海沿岸、松浦沿岸）の説明資料から引用しましたので、「です・ます調」で記載していました。</p> <p>嬉野市地域防災計画の本文同様に「だ・である調」に修正します。</p> <p>理由：計画の一貫性のため。</p>

